

「ありさん、みつけた！」

「いーれて」

アリの飼育を経験している4歳児の子どもたち。

ほら、見て！  
穴があるよ。  
この中にアリさんが  
あるんやわ。

また、アリをつかまえて  
お世話しようよ。  
あ、待って！  
逃げた。あーあ。

どうしたらアリをつかまえられるかなあ？

穴のやけに食べ物  
置いてあげばいい。

さとうとか、かつお節  
とか。

そこで巣穴近くに  
さとうやかつお節を  
置いて、アリをおびき  
よせることにしました。

しばらく待ってみましたか…。

アリさん、  
集まって  
こんね。

わたしたちが  
ここにおったら  
出てこんかな。

しばらく  
あそびにこよう。

うん！

Nちゃんとおちゃんは、あそびに行きました。

戸外であそんだあとの片づけを終えた  
Nちゃんとおちゃんが、急いでアリの巣穴に  
もどってみると…。

あー！  
アリがみんな  
持って行った！

あー、  
わたしたち、  
あそびすぎたわ。

さとうはきれいになくなり、かつおぶしだけが残っていました。

「今度こそ、つかまえてあげようね」と次の日もアリ探しに熱中する2人の姿がありました。身近な自然と触れ合う中で、友だちとのかかわりを楽しむことができるよう援助していきたいと思っています。

2歳児の子どもたちが、お部屋の新幹線コーナーであそんでいました。

わたし  
遊園地に行  
って  
くるね。

ぼく  
海に行  
く。

しばらくすると、新幹線に乗っている友だちの前でピョンピョン跳んでみたり行ったり来たりを繰り返すPちゃんの姿がありました。

……。

ドンドン！  
バタバタ！

Pちゃんも新幹線に乗りたのかな？一緒に乗りたときは、「いれて」って言うよ。

うん。

いーれて！

いいよ。一緒に  
行こう。

ここに座って。出発するよ。

Pちゃんの表情がパッと明るくなりました。

自分の思っていることを言葉で伝えることができるよう援助していきたいと思っています。